

パパ・ママ・みんなの家事・育児プロジェクト

～ 仕事・家事・育児のハッピーバランスをめざそう～

開催結果

令和6年3月

長崎県 県民生活環境部 男女参画・女性活躍推進室

1 開催概要

開催日時

令和6年1月28日（日曜日）
13時30分～16時30分

開催場所

シーハットおおむら

参加対象

子育て中のパパ・ママ・子どもたち、プレパパ・プレママ

参加者数

221名（会場、オンライン含む）

内容

- 【第1部】 大久保嘉人さんのトークライブ
子育て中のパパ・ママトーク
- 【第2部】 ふれあいアクティビティ

プレパパ・プレママ・あじいちゃんおばあちゃんも
パパ・ママ みんなの家事育児プロジェクト
～仕事・家事・育児のハッピーバランスをめざそう～

令和6年1月28日(日) 13:30～16:30 (開場13:00) | 申込締切 令和6年1月21日(金) 13:00

会場 シーハットおおむらサブアリーナ (長崎県大村市幸町25-33) | オンライン(Zoom)ライブ配信有

定員 400名
参加費 無料 (先着順)

対象 パパ・ママ・子ども
お子さんが生まれる予定のプレパパ・プレママほか、子どもにかかわるすべての方

1部 イブニングデザイナー2022発表
大久保嘉人さんのトークライブ
13:30～ 産後最良のシーズン、セレンディシティへの道標が迷った時、三角の雫もほくほく、ない言葉から、心でつながる親身なコミュニケーション、プロワーカー選挙でありながら丈夫として活躍された際のご自身の経験を語ります。

子育て中のパパ・ママトーク
14:15～ NPOファンタジー 高月 晶子さん
講師 大久保 嘉人さん
育児をとったパパや育児中のパパ・ママ

2部 ふれあいアクティビティ (詳しくは画面へ)

イベント開催にはステキな賞品が当たる抽選会があるよ!!
長崎県 県民生活環境部 男女参画・女性活躍推進室 TEL.095-822-4720 FAX.095-822-4739

パパ・ママ・みんなの家事育児プロジェクト
～仕事・家事・育児のハッピーバランスをめざそう～

2部 ふれあいアクティビティ

1 スポーツチャンバラで体を動かそう
15:15～ 遊びの得意に精通したワジュウチーフレンドで制作したキャラクターをスタンプラリーで探した数を競うゲーム
対象者 インストラクター
3歳以上 NPO法人 パパノミクス

2 おしゃれなフォトブースで記念写真
子どもの成長の記録を写真に残そう
対象者 インストラクタースタジオMILK

3 1日10分疲れを癒す簡単セルフケア
3分動画 水町よしこ
肩甲骨の回りにセルフケアで体のこらえがみずかしくなります。

4 親子で遊ぼう! ココロねっこひろば
親子で多岐にわたって遊びましょう
長崎県男女共同参画推進センター
長崎県子ども未来課

ミライの記録簿 「パパ・ママ・みんなの家事育児」パネル展開催 開催日時1月10日～1月31日 会場:大村市

大久保 嘉人さんプロフィール
1982年生まれ、長崎県佐賀市に生まれ、長崎県佐賀市で育ち、セレンディシティでプロキックをスタート。スベイストリートサッカーリーグ、長崎県サッカーリーグで、2021年長崎のリーグチャンピオンを獲得。日本代表としてアジアカップ、FIFAワールドカップ、アフリカ杯、アジアカップ、アジアカップ、アジアカップに出場。長崎県代表として長崎県サッカーリーグ、長崎県サッカーリーグで活躍。長崎県代表として、長崎県サッカーリーグに出場。長崎県代表として、長崎県サッカーリーグに出場。

参加申込について 申込締切 令和6年1月21日(金) 13:00 | 申し込みは長崎県佐賀市佐賀区長崎県民センター。下記QRコードよりお申込みフォームへ申し込み、必要事項をご記入の上、お申込みください。
会場(シーハットおおむら)に お越しになる場合はこちらから オンライン参加の場合はこちらから
お申し込みはこちらから *登録後、招待メールをお送りいたします。
定員400名 定員400名

参加申込に関するお問い合わせ パパ・ママ・みんなの家事育児プロジェクト 事務局TEL.095-822-4720 FAX.095-822-4739

2 ゲストについて

大久保嘉人さんプロフィール

- 1982年6月、福岡県生まれ。
- 国見高校3年時に高校3冠を達成。セレッソ大阪でプロキャリアをスタート。スペイン、ドイツなど海外リーグ、国内の数クラブを経て、2021年古巣のセレッソ大阪を最後に現役を引退。日本代表としてアテネオリンピック、FIFAワールドカップ南アフリカ大会、同ブラジル大会などに出場。
- 妻の莉瑛さんと4男の6人家族。
- セレッソ移籍を機に大阪にて、三男と父子二人生活を送った経験を「俺は主夫。職業、現役」リーガー」として出版。
- 第12回イクメンオブザイヤー2022スポーツレジェンド部門を受賞。



3 イベントの様子

第1部 大久保嘉人さんのトークライブ



主なトーク内容

- 子どもと2人暮らしする前、家事・子育ては妻に任せっきりでした。いざ自分がやってみると、毎日の食事の準備や洗濯など、やらなければいけない事だらけです。毎日やるのは仕事より大変で、世の中のお母さんはすごい。
- うまく家事・子育てのシェアをするコツは、夫婦・家族でコミュニケーションをとることです。家族の「ありがとう」の一言で頑張れます。
- 大久保さんからのアドバイス：自分の家事・子育てには完璧を求めませんでした。最初はゴールの設定を低くして、やってみてハードルを上げられるなら少しずつ上げていく。パパの皆さんには、完璧を求めないで気軽に楽しんで家事・子育てをやってほしいです。サッカーと同じで楽しむことが大切です。

3 イベントの様子

第1部 子育て中のパパ・ママトーク



- 大久保さんと子育て中のパパ3人・ママ（司会の高月さん）で、以下をテーマにトークが繰り広げられました。
育休取得の経緯 男性が育休をとること 子どもとの遊び方
私の家事エピソード（得意な家事・家事の失敗談） パパの本音 パパから大久保さんへの質問
自分の家事・育児・子育てに点数をつけるなら？ これからの時代の理想のパパ像とは？
- 家庭内の家事について：夫婦といえども価値観が合うとは限らない。お互いが気持ちよく生活できるようにコミュニケーションをとることが大事。それぞれの家庭のスタイルを協力して作っていくことができればいいと思う。
- 子育てについて：こどもは褒められることがうれしい。うまくいかず怒りたくなくてもグッと堪えて、いいところを見つけて褒めて伸ばす。

3 イベントの様子

第2部 ふれあいアクティビティ

親子で楽しめる4つのブースの当日の様子です。

スポーツチャンバラで体を動かそう



体にマジックテープで貼り付けたカラーボールをスポンジ製の剣で落とすゲームです。
思いっきり遊ぶことができました。

インストラクター
NPO法人 パパノミクス

1日10分疲れを癒す簡単セルフケア



家事や育児の合間にできる簡単なセルフケアを教わりました。
からだもこころもリフレッシュ！

インストラクター
ヨガ講師 水町 よしこ

おしゃれなフォトブースで記念写真



プロのワザを教わって、撮影にチャレンジ！
普段の写真もグレードアップできそうです。

インストラクター
スタジオMILK

親子で遊ぼう ココロねっこひろば



親子で手作りおもちゃづくり。
ご家庭でも一緒にチャレンジしてみてください。

長崎県男女共同参画推進センター、
長崎県こども未来課

3 イベントの様子

イベントのアーカイブ動画を長崎県公式YouTubeチャンネルで公開しています

第1部 ▶ 大久保嘉人さんのトークライブ

➡ <https://www.youtube.com/watch?v=dCSzq77nMGo>



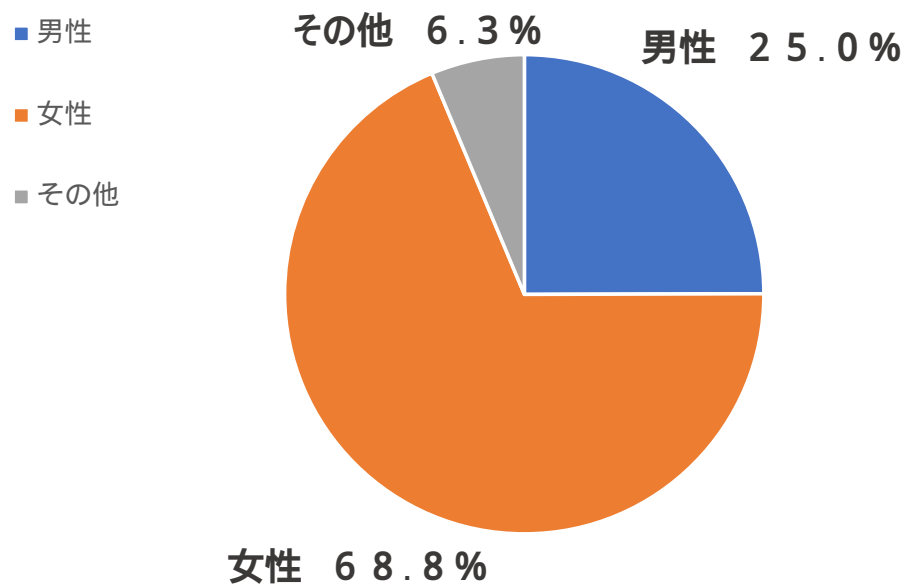
第1部 ▶ 子育て中のパパ・ママトーク

➡ https://www.youtube.com/watch?v=8hDDKAmR_Qo

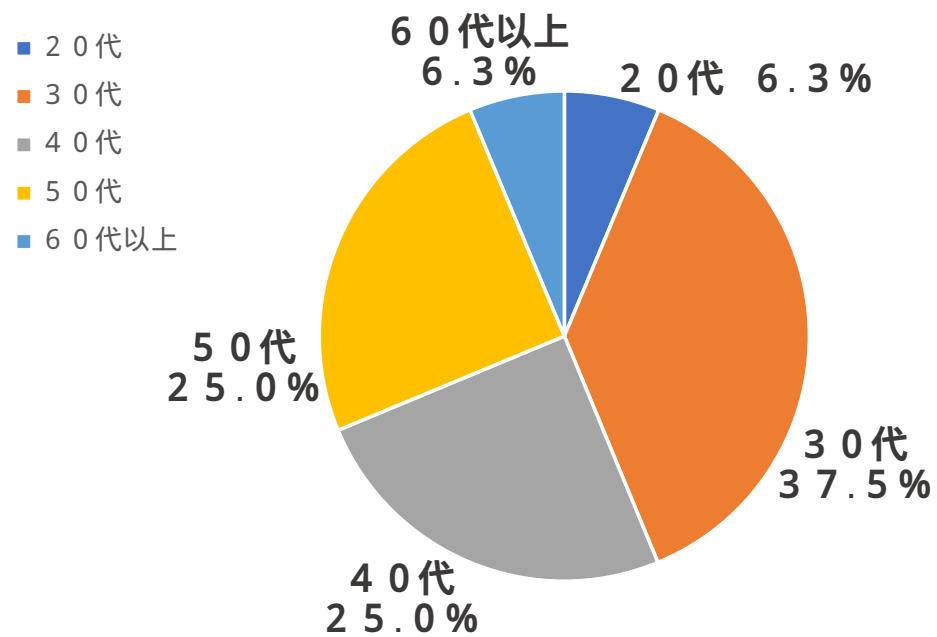


4 アンケートの結果

回答者の性別



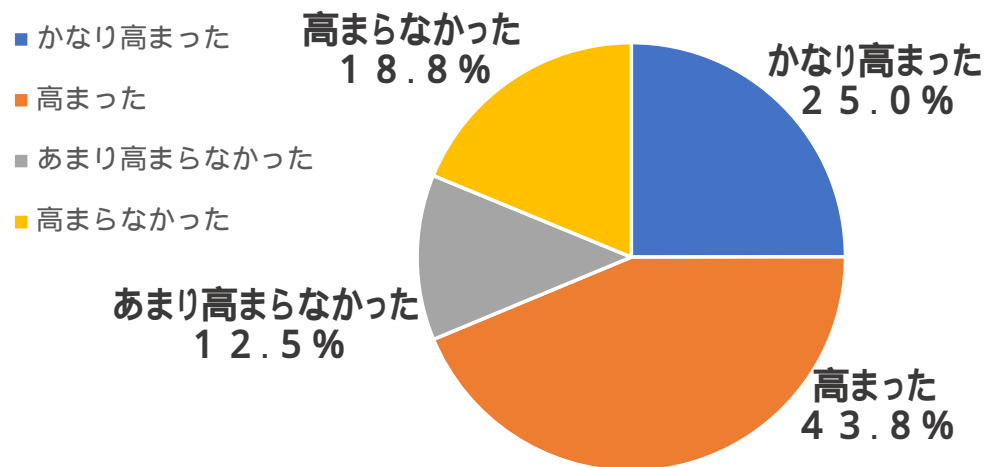
回答者の年齢層



4 アンケートの結果

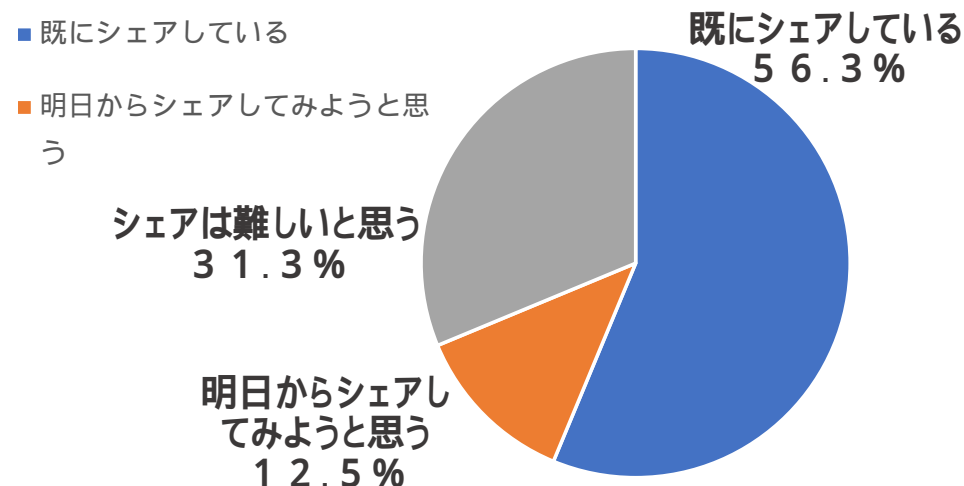
イベントに参加して、夫婦間での家事・子育てのシェアについて意識が高まりましたか？

(パパとママのどちらか一方が頑張るのではなく、互いに協力して家事・子育てをしていこうという意識が高まりましたか？)



家事・子育てのシェアについて意識の高まりがみられます。

家事・子育てのシェアについて、「早速、明日から始めてみようかな！」などという気持ちになりましたか？



既にシェアしている方が半数以上という結果になりました。

家事・子育てのシェアの意識は、男女間で意識の差がないことが理想です

4 アンケートの結果

イベントの感想（自由記述） 一部抜粋

- 大久保嘉人さんの生き方、失敗しても良いから、やってみようという前向きな気持ち、大切だと思います。
- 実際に家事・育児をされた大久保さんのお話は、聞いていて納得できました。パパ・ママトークでは、よく協力されているパパばかりだなと思いました。子どもたちが遊びながら、パパ・ママはトークライブに参加できる形は子どもを持つ親子には参加しやすいなと思いました。またこういう子どもと一緒に参加できるイベントがあれば行きたいと思います。
- のんびりとした雰囲気があってよかったです。
- 同じ子育て世代の方の、リアルな意見を聴くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。素晴らしいイベントなので、今後も続けていただければと思います。このイベントをもっと周知させることも、必要なのではと感じました。